

8. その他

1) 成医会

(1) 第125回成医会総会は、平成20年10月9日（木）・10日（金）の2日間にわたって開催された。

① 特別講演

橋本 和弘教授（心臓外科）「心臓外科手術の進歩」

河合 良訓教授（解剖学）「微小神経回路ダイナミクスの機能的・幾何学的構成解析」

② 宿題報告

大井 静雄教授（総合母子健康医療センター）「世界視野にみた水頭症最先端の研究と実践医療及び発展途上国での治療技術指導に関する研究」

橋本 尚詞教授（解剖学）「器官形成過程における血管系の発達」

柏木 秀幸教授（消化管外科）「胃食道逆流症（GERD）の診断と治療」

和田 高士准教授（新橋健診センター）「動脈硬化の診断から予防まで」

③ シンポジウム

「画像診断の進歩」

司会 田尻 久雄（消化器・肝臓内科）

福田 国彦（放射線医学）

1. 脳神経領域における画像診断機器の進歩

村山 雄一（脳神経外科）

2. 2管球CTの冠動脈疾患への応用

阿南 郁子（循環器内科）

3. 腹部超音波診断の最前線

宮本 幸夫（放射線医学）

4. 胎児エコーの最前線

和田 誠司（産婦人科）

5. 腹部領域におけるMRIの進歩

西岡真樹子（放射線医学）

6. 三次元、四次元画像の臨床応用

鈴木 直樹（高次元医用画像工学研究所）

④ パネルディスカッション

「新外来棟の規模と機能」

司会 森山 寛（附属病院院長）

1. 病院の現況分析と今後の医療政策から

浅野 晃司（医療管理室）

2. 他施設に学ぶ

田尻 久雄（消化器・肝臓内科）

3. 諸外国に学ぶ

大木 隆生（血管外科）

4. IT（情報伝達通信）の観点より

吉村 道博（循環器内科）

5. システム工学の立場より

飯塚 悦功（東京大学工学系研究科 特任教授）

6. 特別発言「財務面からの検討」

谷口 郁夫（常務理事）

(2) 第1254回成医会例会は、平成21年2月19日（木）に行われ「生きるーパンといのちー」が講演のテーマとして選ばれた。司会は、田中忠夫（成医会運営委員長）が務め、神奈川

県立保健福祉大学名誉学長の阿部志郎先生が講演し、最後に栗原敏成医会会長（学長）が総括を行った。

- (3) 第126回成医会総会については、平成21年10月1日（木）、2日（金）の2日間にわたって開催の予定。

2) 各種行事

- (1) 平成20年4月4日（金）、平成20年度医学科および看護学科入学式を挙行了。
- (2) 平成20年7月30日（水）～8月1日（金）、宮崎県穆佐小学校学童2名、教諭2名の本学招待旅行が行われた。この行事は、昭和50年より始められ、今回で34回目となる。
- (3) 平成20年10月4日（土）、同窓会支部長会議・学術連絡会議が開催された。
- (4) 平成20年10月11日（土）、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (5) 平成20年10月18日（土）、卒業50周年を迎えた卒業生（昭33年）をお招きし、懇談の集いを開催した。
- (6) 平成20年10月28日（火）、第104回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (7) 平成21年1月31日（土）、梅澤祐二教授、安田允教授、笠原洋勇教授、鈴木皖之教授を囲みでの退任記念パーティーが行われた。
- (8) 平成21年2月17日（火）献体者遺族に対して文部科学大臣よりの感謝状伝達式を執り行った。
- (9) 平成21年3月13日（金）、第84回医学科、第14回看護学科卒業式を挙行了。

3) 印刷物等の発行

- (1) 法人誌「The JIKEI」の発行
平成20年10月に「The JIKEI13号」を発行した。
同窓、医学部父兄および120周年記念事業寄付者、医療連携病院、教職員に配布しているほか、各種説明会に使用している。
- (2) 慈恵ニュース
平成20年10月に182号、12月に183号、平成21年2月に184号を発行し教職員に配布した。
なお、平成20年度の初回発行となる182号の号外として「学校法人慈恵大学 中期目標・中期計画・平成20年度事業計画」を発行した。
- (3) 大学広報
発行なし。
- (4) 大学ガイド
平成20年6月に入試用ガイドとして「平成21年度版大学ガイド」を発行した。
- (5) 大学説明会案内ポスター
「大学ガイド」の作成に合わせ平成20年6月に大学説明会と入試日程のポスターを作成した。
高等学校、予備校等をはじめ、同窓会長、支部長、学術連絡委員に郵送し広報に関するご協力を頂いている。
- (6) 大学公報
平成20年度より総務課より業務移管され、広報課にて発行（毎月）した。
- (7) 大学ホームページ
インターネットによる情報収集が一般化し、大学ホームページの閲覧数は月平均約103万件と前年度比9.0%の大幅な増加となった。特に病院ページへのアクセス増加は、患者の病院選択においても大きな影響を与えると判断されるため、診療部等の関係各部署と協力を得てホームページ掲載内容の見直しを行い、患者ニーズに応えられるよう最新情報を掲載した。

(8) イン트라ネット

「大学・本院会議予定」、「大学・病院行事予定」、「理事会抄録」等のほか、各部署の保有する情報をイントラネット上のホームページに掲載し、学内で情報を共有し活用している。

(9) オールユーザーメールの活用

講演会、研修会等の開催のほか、教職員のテレビ・ラジオ・講演会等への出演や新聞・雑誌等への掲載情報を主として、平成20年度は321件のオールユーザーメールを発信した。